



← 一斉FAXをした際は、✓印が入ります

福井市は SDGsの取組を推進します

市長記者会見資料

令和4年5月27日 発信

報道解禁

5月30日(月)
市長記者会見終了後

「令和3年度 部局マネジメント方針」の成果報告及び 「令和4年度 部局マネジメント方針」の公表について

このたび、令和3年度 部局マネジメント方針の成果報告及び令和4年度 部局マネジメント方針をまとめましたので、お知らせします。

部局マネジメント方針は、市長と各部局長が政策協議を行い、部局の重点項目や課題への対応方針、年度内に達成すべき具体的な取組内容を定めるものです。

成果を重視した効率的な行政運営を推進することを目的としており、年度の当初に作成・公表し、年度終了後に、その達成度を評価・公表することとしています。

令和3年度の実績は、総項目数190のうち、124項目について達成しました。また、令和4年度方針では、各部局における「基本方針」、「組織目標」、「行動目標」を具体的にまとめました。

詳細は、別添「令和3年度 部局マネジメント方針 成果報告書」、及び「令和4年度 部局マネジメント方針」をご覧ください。

なお、市ホームページに掲載するほか、図書館、連絡所（美山・越廼・清水）、市民サービス推進課、ケーブルテレビ「ふくチャンネル」でもご覧いただけます。

＜対象部局名＞

都市戦略部、総務部、財政部、市民生活部、福祉部、保健衛生部、商工労働部、農林水産部、建設部、工事・会計管理部、消防局、企業局、教育委員会

- 5月30日の市長記者会見で公表しますが、資料が多いため、事前に配布します。
- 各事業の詳細については、各担当部所属へお問い合わせ願います。その際、総合政策課から事前に資料提供があった旨をお伝えください。

【市の広報媒体への掲載（予定含む） ※○印】

広報紙	○	HP	○	LINE		face book		インスタ グラム		Twitter	
-----	---	----	---	------	--	--------------	--	-------------	--	---------	--

令和3年度 部局マネジメント方針 成果報告書について

<評価方法の変更>

令和2年度の包括外部監査において、「設定した数値目標に未達成の場合、一律に「雨」とするのではなく、未達成の度合いによって、新たな基準を設定したらどうか。」との意見をいただき、以下のとおり、評価区分に「薄曇り」を追加し、評価方法を見直しました。（令和3年度の成果報告から適用）

☞ 目標期間内では未達成だが、年度内に達成したもの
【変更前】 くもり → 【変更後】 薄曇り

☞ 数値目標が未達成だったもの
【変更前】 雨 → 【変更後】 くもり（達成率が90%以上のもの）
雨（達成率が90%未満のもの）

<概要>

令和3年度部局マネジメント方針で取り組んだ行動目標190項目のうち、達成できたのは124項目でした。その達成度は65.3%であり、直近の令和元年度の69.2%と比較すると3.9ポイント下回りました。（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、方針策定を見送りました。）

<成果を上げられた主なもの>

- 財政部では、
「2 施設マネジメントの推進」において、部局横断による課題検討や、サウンディング型市場調査、財産有効活用民間提案制度などの官民対話を実施するなど、4項目で目標を達成しました。
- 市民生活部では、
「12 災害時における民間事業者等との連携強化」において、他自治体の締結の事例を参考に避難所における生活環境の向上に関する協定を研究し、民間事業者に積極的に働きかけたことにより、目標件数を上回る協定数を締結するなど、12項目で目標を達成しました。
- 企業局では、
「3 上下水道事業の見える化を推進」において、普段の生活ではなかなか目にする機会が少ない、水道と下水道の役割や仕組みについて理解を深めるため、様々な広報活動として、上下水道展の開催やマンホールカードを配布するなど、11項目で目標を達成しました。

<成果が上げられなかったも主なもの>

- 都市戦略部では、
「2 中心市街地の賑わい創出」において、ハピリンの開業5周年記念イベント等の開催等により賑わい創出を図りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベント等の中止や延期によってハピリンの入込客数や来場者数が伸び悩むなど、7項目で目標を達成できませんでした。

- 商工労働部では、
「12 観光産業の振興」などにおいて、全国的な新型コロナウイルス感染症の影響により、特に県外からの移動を伴う観光や会議の実施が制限され、市内宿泊者数や主要観光地への観光客入込数が大幅に伸び悩むなど、14項目で目標を達成することができませんでした。
- 教育委員会では、
「24 図書館サービスの拡充」において、新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの中止や参加者数の制限により、来館者数が伸び悩むなど、11項目で目標を達成することができませんでした。

令和4年度 部局マネジメント方針について

令和4年度 部局マネジメント方針については、前年度達成できなかった項目の要因をしっかりと分析し、課題解決を図った上で、引き続き目標達成に努めます。
数値指標は、より高い成果を目指し、行動目標は、185項目を定めました。

<主な内容>

- 都市戦略部では、
「1 民間主体のまちづくりの推進」において、福井駅周辺を魅力と賑わいある市街地へ再整備するため、民間が主体となった再開発事業への支援を行い、商業、文化、医療、居住等の複合的な都市機能の充実を図ります。
「10 ICTを活用した交通利便性の向上」において、公共交通の利用促進のために、MaaSシステムの導入やキャッシュレス決済の普及促進など、ICTを活用した利便性の向上に取り組みます。また、MaaSシステムの令和5年度末の本格導入に向けて、ふくい嶺北連携中枢都市圏の各市町、交通事業者、民間事業者等と「ふくいMaaS協議会」を立ち上げ、デジタルチケットの導入などの実証実験に取り組みます。
- 総務部では、
「10 ふくいの魅力を首都圏へ発信」において、企業誘致、地場産品の販路拡大やふるさと納税を推進し、本市の認知度向上及びイメージアップに取り組みます。併せて、「福井市応援隊」の会員を対象にしたイベントの開催や、SNS、メールマガジンでの情報提供を通して会員に首都圏でのPR役を担っていただき、本市の関係人口の増加につなげます。
- 財政部では、
「3 入札契約制度の改善」において、入札参加者の負担軽減や利便性向上、事務効率化を図るため、自治体DXを推進するとともに、入札契約に係る手続き及びその運用の改善を進めます。そのため、入札参加資格申請のオンライン化に続き、令和5年度からの電子契約サービスの導入に向けた環境整備に取り組みます。

■ 市民生活部では、

「1 窓口サービスの向上」において、デジタル化の進展による決済手段の多様化に対応するため、市民課窓口での各種証明書発行手数料の支払いについて、キャッシュレス決済サービスを導入し、窓口サービスの向上を図ります。また、住民基本台帳システムを改修することにより、転出・転入手続の時間短縮・ワンストップ化を図ります。

「9 新ごみ処理施設整備事業」において、新ごみ処理施設の令和8年度稼働開始に向けて、整備運営事業の実施設計を行います。

■ 福祉部では、

「1 複雑化・複合化する福祉課題に対する包括的な支援体制の構築」において、地域共生社会の実現に向けて、「8050問題」など複雑化・複合化する福祉課題に対応できるよう、重層的支援体制整備事業の実施を進め、包括的な支援体制を構築します。

「9 認知症施策の推進」において、令和4年6月に広域中核機関である「ふくい嶺北成年後見センター」を設置し、制度の普及啓発や相談対応をはじめ、関係する市町職員や包括支援センター職員等を対象に研修等を行い、成年後見制度の利用促進を図ります。

■ 保健衛生部では、

「1 感染症対策の推進」において、市民の安全安心な生活を守るため、新型コロナウイルス感染症や結核等、様々な感染症の発生やまん延の防止に向けた取組を推進します。特に、新型コロナウイルス感染症対策では、引き続き全庁的体制で積極的疫学調査や検査を着実に実施し、感染者の早期発見と感染拡大防止に取り組みます。

「7 新型コロナウイルスワクチン接種の推進」において、新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐため、国が示す接種対象年齢の拡大に合わせた接種体制を整え、初回接種（1・2回目接種）を終えた方への追加接種（3回目接種）を推進します。また、4回目接種の実施に向けた国の動向を注視し、迅速に準備を整えることで円滑な接種を実施します。

■ 商工労働部では、

「5 事業承継の促進」において、福井県事業承継・引継ぎ支援センターをはじめ、ふくい嶺北連携中枢都市圏内の商工団体等と連携し、圏域内における事業承継への支援を強化します。また、事業承継を進める事業者に対し資金面での支援を行うことで、中小企業者の技術やノウハウの引継ぎを促し、地域経済の活力維持を図ります。

「11 誘客プロモーションの強化」において、北陸新幹線福井開業に向け、観光ポータルサイト「福いろ」を活用し、ふくい嶺北連携中枢都市圏内の幅広い観光情報を発信します。また、インスタグラムなどのSNSや、対象の年齢や興味などターゲットを絞ることができるウェブ広告を活用した効果的な宣伝広告を行い、観光誘客の拡大につなげます。

- 農林水産部では、
 - 「2 スマート農業の推進」において、農業者の高齢化や後継者不足が大きな課題となる中、持続可能な農業を実現するため、スマート農業の導入を進め、農作業の省力化や栽培技術の向上を図ります。
 - 「4 流通販路の拡大・開拓」において、連携中枢都市圏の各市町と連携し特産品の知名度向上に取り組むとともに、大都市圏等での販売イベントやECサイトなどを活用した効果的な情報発信を行い、販路拡大・開拓を進めます。
- 建設部では、
 - 「9 水防業務のDX推進」において、水災害から市民の生命・財産を守るため、地下道や河川・水路等の状況をリアルタイムで把握し、早期の交通規制や効率的な水防活動が行えるよう、水防業務のDXに取り組みます。
 - 「14 空き家対策の促進」において、空き家対策の強化を図るため、市内全域の空き家の実態を調査し、福井市空き家等対策計画（平成30年度～令和9年度）を改訂します。
- 工事・会計管理部では、
 - 「1 建設工事の生産性向上・建設業の働き方改革の推進」において、建設業における担い手確保のため、働き方改革を発注者の立場で推進するとともに、研修等により職員の意識改革を行い、建設業者の実態を把握しながら週休2日制工事の発注を促進します。
- 消防局では、
 - 「10 DXの推進」において、マイナポータル等の活用による消防法令における申請・届出等のオンライン化を導入し、市民サービスの向上と効率的な行政運営を図ります。また、風水害等の広域的な災害現場における情報収集や水難救助、山間部における捜索活動にドローンを活用し、市民の安全・安心の向上を図ります。
- 企業局では、
 - 「11 雨水対策事業の推進」において、令和3年度に改定した福井市下水道雨水対策基本計画に基づき、ハード・ソフトの両面から浸水対策に取り組み、安全・安心なまちづくりを進めます。また、同じく3年度に改訂した福井市下水道内水ハザードマップの周知のために企業局広報誌等への掲載や説明会等を行うとともに、雨水対策事業の見える化に取り組みます。
- 教育委員会では、
 - 「7 学校規模の適正化」において、福井市学校規模適正化検討委員会からの答申の提言を軸に、保護者や地域と協議を進めていきます。また、合意形成の図られた北部地域（森田・河合両地区）に新設される中学校の校区の決定や、殿下地区における中学校の校区や通学手段等の検討を行います。
 - 「23 図書館サービスの拡充」において、省エネ効果の高い環境配慮型の公共施設として、令和6年（2024年）春のオープンを目指し、市立図書館のリニューアル工事に着手します。



新幹線プロモーションのポスター・動画制作

北陸新幹線福井開業に向けたプロモーションとして、今回、社会学者・作家の古市 憲寿（ふるいち のりとし）氏と福いいネ！くんによる新たなポスターと動画を制作しましたのでお知らせします。

1 ポスター

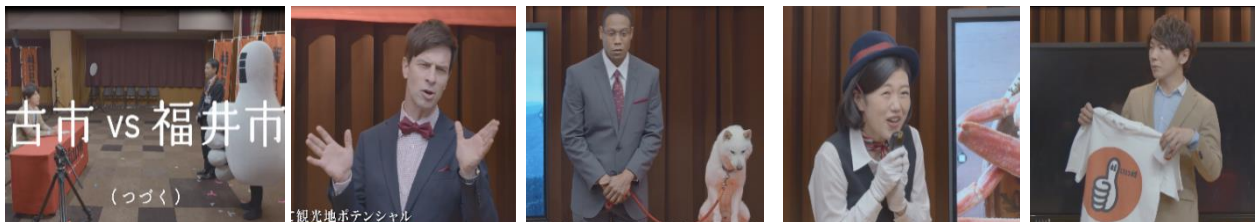
- ・A、B 2種類のポスターを制作
- ・古市憲寿氏らしい個性的なキャッチコピーがポスターデザインにマッチ



2 動画

<アドレス： https://www.youtube.com/channel/UCu_IV8QvChIeDUVZSCIG+hw >

- ・Episodel~5の5話構成ストーリー（計 約11分30秒）
- ・「福いいネ！グランプリ」をテーマに福井ゆかりの著名人が福井の魅力をプレゼン



- ①導入 ②パクン ③白い犬のお父さん ④横澤夏子 ⑤結果発表

< 取材ポイント >

- ・受託事業者の（株）トレードマークは、これまで「一乗谷ディスカバリープロジェクト」で交通広告グランプリ受賞やソフトバンクCMタイアップ等の実績があります
- ・今回の動画では著名人や福いいネ！くんに加え、市の職員も出演しています
- ・ポスター、動画の素材は提供可能です

【市の広報媒体への掲載（予定含む） ※○印】

ホームページ	○	LINE		フェイスブック	○	インスタグラム	○
--------	---	------	--	---------	---	---------	---